

Press Release

ハーマンインターナショナル株式会社
2016年1月14日

<報道関係各位>

Bang & Olufsen(バング アンド オルフセン)の 3D アドバンスト サウンドシステムが新型 Audi Q7 に採用 縦方向への音場の広がり、今までに無いサウンドエクスペリエンスを提供



※写真は欧州仕様車です。一部日本仕様と異なる場合があります。

ハーマンインターナショナル株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:仲井一雄)は、デンマークのオーディオ・ビジュアルブランド「Bang & Olufsen(バング アンド オルフセン)」の「Bang & Olufsen 3D アドバンスト サウンドシステム」が、本日正式発表された新型 Audi Q7 に採用されたことを発表します。本サウンドシステムは、新型 Audi Q7 にメーカーオプションとして設定されます。

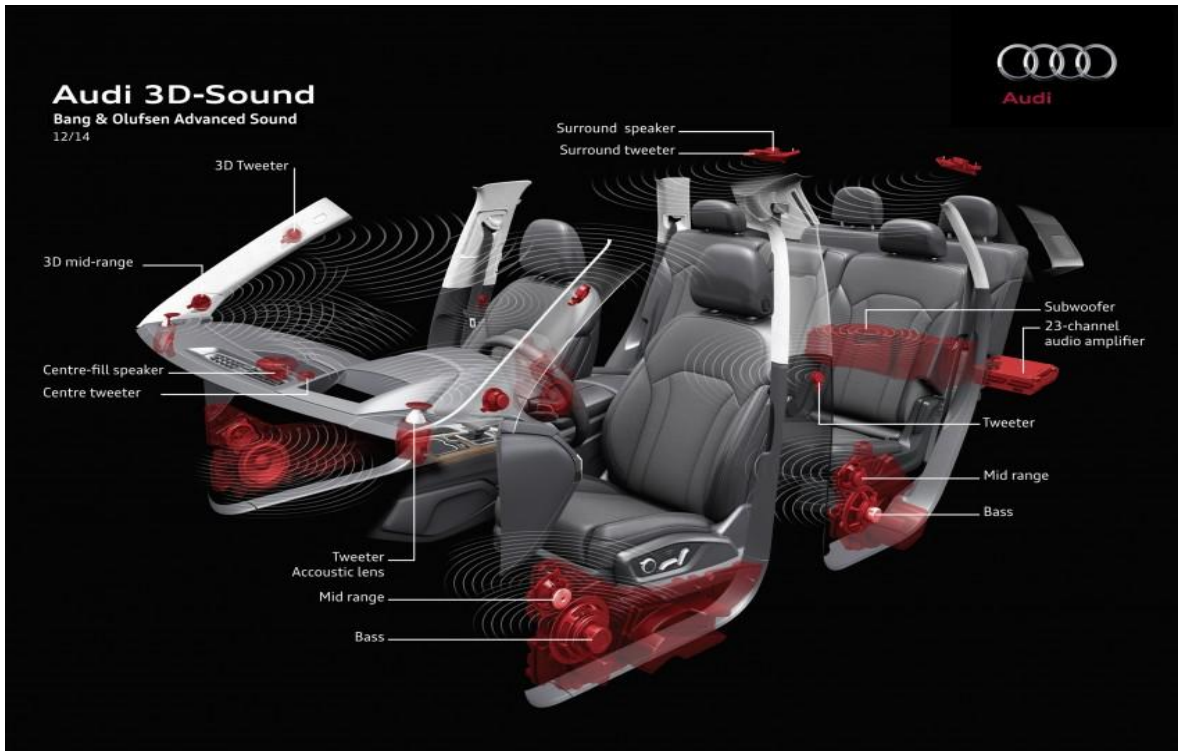
今回新型 Audi Q7 に採用された「Bang & Olufsen 3D アドバンスト サウンドシステム」は、主に A ピラーにレイアウトされたミッドレンジスピーカーと SYMPHORIA 3D SOUND TECHNOLOGY による精緻なチューニングで、前後左右のみならず垂直方向への音の広がりをもたらす 3D サウンドステージを実現しています。3D の効果は「ステレオ(3D オフ)」「低」「中」「高」の四種類のセッティングが用意されており、お好みの効果を選ぶことができます(推奨は「中」)。

23 スピーカーを 23 チャンネル 1900 ワットのアンプで駆動する本システムは、内装と一体となった専用設計のスピーカーグリルとインパネ上部左右の格納機能付きアコースティック・レンズツイーターと共に、究極の車室内音響を提供します。

Press Release

主な仕様

■スピーカーレイアウト



■スピーカーグリル(フロントドア)



■Beocore アンプ





Press Release

<Bang & Olufsen Automotive について>

1925年にPeter BangとSvend Olufsenによって創業されたBang & Olufsen社は、創業以来音響への飽くなき探求に基づいた、優美なデザインの製品を世に送り出してきました。

2005年からはオートモーティブオーディオへも進出し、ハーマンインターナショナルが2015年5月にオートモーティブ部門を買収しました。現在Bang & Olufsen Automotiveとして、ハーマン社内のオートモーティブのエンジニアと共に車室内の音響システムの更なる高みを目指しています。

<ハーマンインターナショナル(米国本社/Harman International Industries, Incorporated)について>

ハーマンインターナショナルは、プレミアム・オーディオ、ビジュアル、コネクテッド・カーと、それらを統合したソリューションを、自動車、消費者、プロフェッショナルの市場に向けて、設計・製造・販売しています。弊社のAKG®、Harman Kardon®、Infinity®、JBL®、Lexicon®、Mark Levinson®を含む主要ブランドは、オーディオ愛好家やアーティスト、イベント／コンサート会場などで多く利用され、称賛を受けています。また今日では、弊社のオーディオやインフォテインメント・システムが装備された自動車が世界で2,500万台以上走っています。

ハーマンインターナショナルは全世界に25,000名の社員が在籍、2015年3月末までの12か月で59億米ドルの売上を報告しています。

お客様のお問い合わせ先

ハーマンインターナショナル株式会社

Tel: 0570-550-465

<http://www.harman-japan.co.jp/>